

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

新・勝浦町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

徳島県勝浦郡勝浦町

### 3 地域再生計画の区域

徳島県勝浦郡勝浦町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の総人口の推移をみると、昭和30（1955）年の10,160人から減少の一途をたどり、令和6（2024）年1月1日現在、住民基本台帳によると4,570人となっている。将来推計をみると、令和22（2040）年では3,000人、令和42（2060）年では1,712人の予測となっている。

年齢3区分別人口の推移をみると、平成2（1990）年から令和2（2020）年にかけて、年少人口は1,261人から433人、生産年齢人口は4,598人から2,275人と減少する一方、老年人口は1,404人から2,128人と増加している。老年人口（65歳以上）は平成2（1990）年に年少人口（0～14歳）を上回り、令和2（2020）年には高齢化率が約4.4割となっている。

自然動態について、死亡数が出生数を上回る自然減となっており、令和4（2022）年には▲89人の自然減となっている。

社会動態について、転出数が転入数を上回る社会減となっており、令和4（2022）年には▲48人の社会減となっている。

人口は減少を続けており、産業における人材・後継者不足、空き家の増加、地域コミュニティの維持が困難になるなど、まちの機能低下が懸念され、このままではまちの活力が失われていくことになりかねない。今後は、人口が減少してもまちの機能を維持し、活力を損なわない持続可能な地域社会を構築することが課題となっている。人口減少社会を前提に、住民と危機感を共有した上で暮らしを支える基盤

を充実させることができるまちづくりが必要であり、これまでの取組をさらに強化するとともに、平成 27(2015)年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた取組や、IoT、AI、ロボット等の技術革新を産業や生活のあらゆる分野に取り入れ課題を解決する society5.0の実現に向けた取組等、新たな社会潮流を踏まえた見直しが求められる。町政運営にあたっては、本町を取り巻く社会経済情勢や住民ニーズを的確に捉え、厳しい財政状況が見込まれる中でも継続的な行財政改革に取り組みつつ、住民の参画と協働を含め、限られた資源を最大限に活用しながら、戦略的なまちづくりを進めていく必要がある。

このため、適格な施策を集中的かつ持続的に展開することで、本町の資源を最大限活用しながら人口減少に歯止めをかけ、地域経済力を高める具体的かつ効果的な取組をより積極的に推進することにより、本町の創生を果たす。

- ・基本目標 1 次世代を担う人づくり
- ・基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり
- ・基本目標 3 個性と魅力あふれるまちづくり
- ・基本目標 4 地域力の高いまちづくり
- ・基本目標 5 まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与す る地方版総合 戦略の基本目 標
ア	将来勝浦町で住みたいと 思う中学生の割合	13.8%	40.0%	基本目標 1
	児童生徒の伝統文化活動 参加者数	0人	10人	
	地域資源(恐竜・特産品等)	68%	80%	

	) を活用した授業を受けた生徒の満足度			
	ICTを活用した授業を実施している教員の割合	90%	100%	
	不登校・長期欠席児童生徒の割合	3.0%	1.5%	
	LED化した学校施設(校舎)の割合	33%	100%	
	年度内に開催した人権講演会・研修会の参加人数	249人	300人	
	関係機関職員の人権研修受講率	80%	100%	
	発表会・文化祭等に参加した住民の割合	12.8%	12.8%	
	人形フェスティバル参加者の満足度	95%	100%	
	みんなの運動会に参加した住民の割合	10%	20%	
	LED化したスポーツ施設(学校体育館・町民体育館)の割合	50%	100%	
	空調設備を設置したスポーツ施設(学校体育館・町民体育館)の割合	0%	100%	
イ	道路補修箇所数(累計)	—	150件	基本目標 2
	道路舗装率	89.6%	89.7%	
	橋りょう健全化率	91%	97%	
	星谷橋架け替え及び周辺町道	未完了	完了	

公共交通(路線バス等)の 運行維持	—	維持
福祉移送事業 のべ利用 人数	546人	560人
農地の有効利用率	9.2%	12.0%
宅地造成区画数(累計)	11区画	15区画
道の駅周辺入込客数	25万3千人	26万8千人
簡易水道普及率	89.1%	90.0%
簡易水道施設耐震化率	24.2%	31.7%
汚水処理人口普及率	66.2%	84.3%
有収率の増加	67.3%	70.0%
移住者数(U I Jターン)	64人	80人
結婚支援制度利用数	2人	8人
空き家利用率(空き家バ ンク登録の賃貸物件)	53%	70%
危険空き家減少数(除却 補助件数・累計)	51件	80件
町営住宅の長寿命化計画 実施率	0%	39%
木造住宅の耐震診断実施 戸数(累計)	266戸	326戸
高齢者等世帯への家具固 定・減災化対策実施戸数( 累計)	9戸	27戸
住民一人1日あたりの可 燃ごみ排出量の減少	522.4g	500.0g
リサイクル率の向上	15.85%	18.00%
広域処理体制の維持	—	維持
環境学習の実施回数	3回	10回

	若者(39歳以下)及び女性の消防団員在籍率	43%	50%	
	救急救命講師派遣回数	15件	20件	
ウ	阿波かつうらブランド商品売り上げ(道の駅取り扱)	4,279千円	8,000千円	基本目標3
	6次産業化導入支援(累計)	0件	5件	
	SNS(観光ツーリズムインスタ)フォロワー数	1,834件	3,000件	
	中山間におけるドローン防除率	—	30%	
	認定農業者数(累計)	31人	35人	
	農地集積率(担い手に農地が集積している割合)	25.7%	31.5%	
	森林明確化実施済面積	915ha	1,000ha	
	令和6年度対町内法人廃業抑制率	—	100%	
	令和6年度対商工会の会員数維持	—	100%	
	企業版ふるさと納税受入件数(累計)	0件	1件	
	新規起業者数(累計)	—	5人	
	道の駅物産販売売上高	17,500千円	20,000千円	
	道の駅ひなの里かつうら入込客数	9,172人	12,000人	
	町外施設等で広域連携してPRした活動数	5回	10回	
エ	心配事相談件数	10件	13件	基本目標4

民生委員活動における相談・支援件数	45件	57件
成年後見制度活用件数	13件	19件
65歳以上高齢者に占める要介護認定を受けている人の割合	21.1%	22.8%
在宅サービス受給率	62.9%	58.9%
75歳以上の後期高齢者に占める認知症高齢者の割合	19.9%	19.0%
サルビア作業所利用者数	12人	15人
障がい者相談支援事業所等への相談件数	205件	230件
住民の障がいへの理解促進に関する啓発活動	1回	3回
待機児童数	0人	0人
子育て支援拠点利用率	92%	100%
適正な体重管理ができて いる妊婦の割合	60%	100%
産後ケア（訪問型）利用率	80%	100%
常勤医師数	4人	5人
病床利用率（全体）	65.7%	80.0%
通院支援利用患者延べ数	0人	150人
医業収支比率	76.4%	84.0%
勝浦病院の救急患者（救急車）搬送受入率	31.5%	33.0%
健診受診者のうちメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少	29.1%	26.2%

	特定健診受診率	55.8%	60.0%以上	
	がん検診精密検査受診率	90.4%	100.0%	
	自殺死亡率の減少(10万人対)	23.76	0.00	
	避難所環境整備率	65%	100%	
	個別避難計画作成率	58.26%	100.00%	
	防災協定締結数(累計)	26件	30件	
	住民防災訓練参加率	58%	70%	
	県内における勝浦町の認知犯罪比率	0.7%	0.0%	
	交通死亡事故ゼロの継続	死亡事故0件	死亡事故0件	
	消費者保護に関する啓発活動回数	4回	10回	
	小松島消費生活センターで把握している勝浦町の相談件数	18件	10件	
オ	町内の自治会数の維持	16地区	16地区維持	基本目標5
	男女共同参画に関する研修会参加者の男女共同参画に対する理解度	—	80%	
	各種協議会等における女性委員数の割合	36.9%	45.0%	
	町ホームページのアクセス件数	61,000件	70,000件	
	パブリックコメント実施率	66%	90%	
	行政手続オンライン化件数	30件	40件	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

勝浦町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 次世代を担う人づくり事業

イ 住みたい、住み続けたいまちづくり事業

ウ 個性と魅力あふれるまちづくり事業

エ 地域力の高いまちづくり事業

オ まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり事業

#### ② 事業の内容

ア 次世代を担う人づくり事業

次世代を担う人材・子どもたちが郷土への誇りと愛着を育み生きる力  
や多様な可能性を伸ばせる教育環境や、すべての世代が学びや挑戦を続  
けられる環境を整え、町全体の活力と持続可能性を高める事業

【具体的な事業】

- ・ 恐竜事業
- ・ 伝統芸能文化継承事業
- ・ 社会教育事業 等

イ 住みたい、住み続けたいまちづくり事業

快適な住環境や公共交通、医療・福祉サービスの充実を図り、移住・  
定住や二地域居住の促進につなげる。さらに、地方創生 2.0 基本構想や  
地方創生 DX の流れを活かし、ICT を取り入れた生活基盤整備やサービス  
の質向上を推進し、世代を問わず「住みたい」「住み続けたい」と思え  
るまちを実現する事業

【具体的な事業】

- ・星谷橋架け替え事業
- ・公園整備
- ・空き家活用による移住促進事業 等

#### ウ 個性と魅力あふれるまちづくり事業

地域資源を活かし地域ブランドとして発信し、観光振興や交流人口・関係人口の拡大につなげ、経済活性化を進めることで魅力とにぎわいを創出し、町の存在感を高める事業

##### 【具体的な事業】

- ・阿波かつうらブランド化事業
- ・新規就農支援事業
- ・国内外誘客推進事業 等

#### エ 地域力の高いまちづくり事業

協働やコミュニティの在り方を見直し、多様な主体が連携することで地域の価値を高め、住民参画を広げ、地域力を再生・向上させることで、安心して暮らせる持続可能なまちを築く事業

##### 【具体的な事業】

- ・社会福祉事業
- ・医師確保事業
- ・災害対策事業 等

#### オ まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり事業

住民と課題や目標を共有しながら、満足度の高い行政サービスを提供し、DX や GX など新しい政策潮流を積極的に取り込み、コンパクトで持続可能な町政基盤を構築し、力強くまちづくりを推進する事業

##### 【具体的な事業】

- ・団体の育成支援
- ・ポータルアプリ・多様な情報配信基盤整備事業 等

※なお、詳細は勝浦町第六次総合計画（後期基本計画）のとおり

### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

### ④ 寄附の金額の目安

100,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（P D C A サイクル）**

毎年度 9 月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに勝浦町公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

**6 計画期間**

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで